

9・貸切露天風呂でのんびり

ある春の日。午後四時ごろ。

主人公とトワ、今日は結婚一周年を記念して、温泉旅館にやつてきた。

午後三時ごろに到着し、今は早速露天風呂に入っているところである。

この露天風呂は、もちろん二人の貸し切り。

主人公とトワ、大好きなお風呂に二人きりで入れて、とにかく幸せ。

主人公『自分のお財布にはちょっと辛いところだったけれど、頑張ってここに泊まる』にして良かったなあ……』と思っている。

当然トワはそんな主人公の努力を理解していて、本当は泣きそうなほど嬉しい。

が『自分はそういうキャラクターではない……』と思うあまり、いつも通り、明るくえつ

ちに振る舞っている。

二人は温泉の中で、主人公が右側、トワが左側に並んで座っている。

SE1..露天風呂の環境音

【頭から流してループし、トラック終了まで小さめの音量で流し続ける。】

●左

【ゆつくり目に。とにかく幸せで、身も心もゆるんでいる】

は～あ♥

いい雰囲気♥ ですねえ♥】

（主人公）

「うん！ 最高……♥」

●左

【うつとり、ゆつくりめに】

これが世に聞く『しつぱり』ってやつですか？

【列举するうち、どんどんテンションが上がっていく】

あつたかいお風呂♥ 気持ちいい空気♥

そして隣には最愛のア・ナ・タ♥

結婚一周年記念に。こんな素敵などいろで過ごせるなんて

トワは宇宙一幸せなお嫁さんです～♥

連れて来て下さって♥本当にありがとうございます♥】

〈主人公〉

「わたしも！ トワちゃんと今日を迎えて嬉しいよ。気に入つてもらえたかな？」

SE2：トワが正面に移動する音

【頭から流す。0—3秒ほどまで流す】

●中央

【テンションが上がるが、声は大きくなり過ぎない】

はい！ 大いに大きいに気に入りましたあ♥

マイフェイバリットです♥

都会の喧騒を離れ、二人を知るものは誰もいない温泉地に一泊一日のお忍び旅行
というシチュエーションだけで最高なのに。

今日お泊まりするあるお部屋、やばくありませえんつ？

うちより広い。いや、さすがにそれはないか♥

でも広いし♥ 綺麗だし♥ 風情も歴史もあるハイクラスだし♥

【一呼吸置いてから】

そして極め付けはこの！

【とにかく嬉しくてしようがない】

ふうふのラブラブ貸切露天風呂ですよ♥

最高で～す♥

トワ。生きてて良かつたあ♥

●中央 至近距離

【主人公の鼻にキスする】

ちゅ♥

だつてほら♥

貸切だから♥

こうやつて堂々とちゅーできますもんね♥

【唇に、三回軽くキスする】

ちゅ♥ ちゅ♥ ちゅ♥

【次第に興奮して、息が少し荒くなる】

はあ……♥ 好き♥

【少し間を置いてから】

んふふ。トワ。わかつてますよ？

アナタが今日も♥ トワが喜ぶ気遣い、いっぱいして下さつてると

たとえばこの温泉です♥

アナタ、トワの故郷の星があつたかい水の星だつて聞いてから。

トワを色んな温泉や♥ 錦湯に連れてってくれてますもんね♥

アナタのその優しさのおかげで！ トワは今日も地球でやつていけます。

いつも本当にありがとうございます♥

アナタのお嫁さんになれ。幸せです♥

ん♥ ちゅ♥

【※20秒※ ほど、次第に深くなるキスをする】

んう……ちゅつ♥ れろつ……ちゅるつ♥ くちゅつ♥ ちゅつ♥ ちゅぱつ♥

【ねつとり、ゆっくり唇を離す】

ちゅぱつ……♥

ふふ。

トワのベロ、おいしい？」

〈主人公〉

「うん……♥」

●中央 至近距離

「トワもアナタのお口、気持ちいい♥

もうとしょ？」

S E 3 .. トワが主人公の膝にまたがる音

【途中から流す。5—8秒ほどまで流す】

●上 至近距離

【※20秒※ ほど、次第に深くなるキスをする】

んふ……ちゅぱつ♥ ちゅ、ちゅ、ちゅ♥ くちゅるい……じゅるい♥ れろつ♥ ちゅ

ぱつ♥ んんうつ♥ 「♥」

〈主人公〉

「はあ、はあ♥ ふふ♥ トワちゃんに乗つかれちやつた♥」

●上 至近距離

【唇を離して、うつとりと】

はあ、はあ……♥ ふふ♥ そおだよ？

「うやつて♥ アナタに乗つかつてるのが♥ トワの定位置で～す

【少しだけ声のトーンを落として、優しく、少しだけ真剣に】

「の一年。これが定位置って言えるくらい。」

いっぱいしたね。トワ達♥
次の一年も。いっぱい。いっぱいえっちしようね♥

〈主人公〉

「うん……！」

●上 至近距離
【上機嫌で】

うん♥

【甘えた声で打ち明ける】

あのね♥ トワね。セックス大好きです♥
アナタを感じて。アナタを独占できて。
アナタのこと、いっぱい知れるから♥
アナタがトワの腕の中であんあんする可愛い声も。
優しく抱いてくれる時の、甘い呼吸も……♥
イキそうな時にぎゅっと繋いだ、余裕のない手の感触も♥
全部トワの宝物で、大切な思い出です♥
だいしゅき～♥」

トワ、主人公の右耳へ唇を寄せる。

●右 ささやく

【ささやく】

ねえ♥ 今日も思い出♥ 作りましょうね？

うふふ♥

●中央 至近距離

【軽く、三回唇にキスする】

ちゅ♥ ちゅ♥ ちゅ♥」

主人公、されるがままになつていてるうち、どんどんえっちな気分になつてくる。
今すぐにでもしたいくらい、高まつている。

〈主人公〉

「あの……♥ トワちゃん……♥ これ以上……」でしてると、わたし……！」

● 中央 至近距離

「甘くからかう」

あは♥ えいつスイッチ入りそうです?

右 ささやく

【ささやく】

でも、ここだと、冷えちやうかもだから……♥

続きはお部屋で♥ しましょつか♥

● 中央 至近距離

【軽く一回キスする】

ちゅ♥」

このまま、フェードアウトしてトラック終了。

